



東日本大震災被災地調査報告について

8月2日から5日にかけて、今回の東日本大震災における「内陸部の被災状況」と「岩手・宮城内陸地震の課題対応について」を中心に実態調査を行いました。

当市においても、東海、東南海・南海地震の発生が危惧されている中、今回の被災自治体の被害状況や震災対策の課題・対応調査から、当市の今後の取り組みとして、

- ① 平時における自主防災組織・コミュニティ機能の強化
 - ② 災害時の情報通信手段の重層化
 - ③ 公共拠点施設における電源・燃料調達の重要性
 - ④ 避難所運営など被災者支援及び支援受け入れ体制の確立
- など、8項目を課題として整理いたしました。

今後、これらの課題について検討を重ね、「亀山市地域防災計画」を見直してまいりたいと考えています。